

2023年12月期（2023年度）上半期 決算説明会

内容

- ◆ 本日のポイント
- ◆ 23年度上半期 連結業績概況・事業セグメント別実績概況
- ◆ 23年度下半期 施策・主要トピックス
- ◆ 設備投資・ESG経営の推進
- ◆ 自社の変革に向けて
- ◆ 株主還元

- (参考) 事業セグメント別概況、BS・PL概況
事業別・地域別セグメント実績、主な製品・用途

決算説明会 開催日：2023年8月22日

決算説明会資料 公開日：2023年8月21日

本資料中の計画、予想は2023年8月21日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済状況、事業環境に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。また、表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

2023年度上半期業績の総括

- グループの収益力、営業利益率は22年度Q3をボトムに改善が続く。
原材料高騰影響に対し価格改定と各種コストダウン施策で収益力を改善しつつある。液晶パネル市況、エレクトロニクス市況や中国市場の停滞による数量の伸び悩みはあったものの、利益水準は概ね想定通りに推移。

2023年度下半期の見通し

- 下半期からは海外市場を中心に数量が回復、収益力の改善に伴って利益を伸ばす。高付加価値の液晶パネル、エレクトロニクス関連材料も下期から回復見込み。
- 通期業績：2023年2月発表時の業績見通しから修正なし。

当社が注力すること

- 成長事業の投資・育成を継続して進める。
ー LiB用CNT分散体は拡大続く、新たに3社採用、売上目標・投資額を上方修正。
- 停滞から脱して変わる覚悟⇒社名を変更、新中期経営計画に基づいて変革を推進。
- 新中期経営計画は次回決算説明会（2024年2月予定）にて発表。

(単位：億円)

科目	22年度上半期 実績	23年度上半期 実績	増減率(%)	23年度通期計画
売上高	1,548	1,537	▲0.7	3,300
営業利益	46	48	3.0	110
経常利益	67	54	▲20.2	95
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	38	▲54.3	60
営業利益率	3.0%	3.1%	0.1 points	3.3%
海外売上高比率	52.5%	52.8%	0.3 points	

計画の前提となる指標と実績

		23年度 前提	23年度 上半期平均	前年同期
為替	1 USD	¥130.0	¥136.5	¥124.5
	1 EUR	¥140.0	¥147.9	¥135.2
	1 RMB	¥19.5	¥19.6	¥19.1

		23年度 通期前提	23年度 上半期平均	前年同期
原料	ナフサ(/KL)	¥65,000	¥67,000	¥75,350

■ **減収増益**：エレ市況・中国景気の停滞で減収、価格改定進み増益

売上

為替影響と価格改定効果はあったものの、エレクトロニクス市況と中国景気が低調であったため減収 海外比率は52.8%

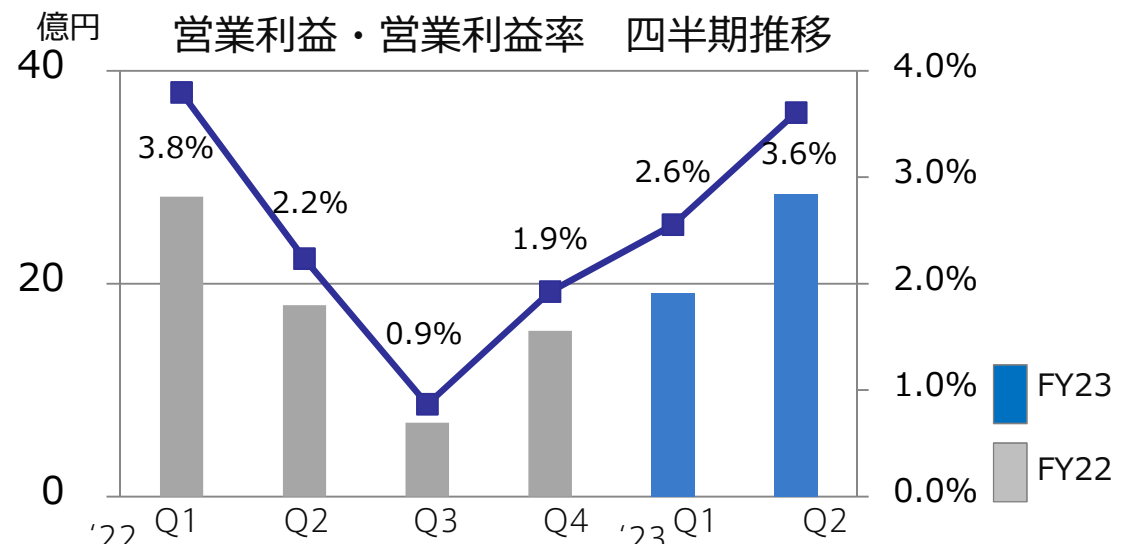
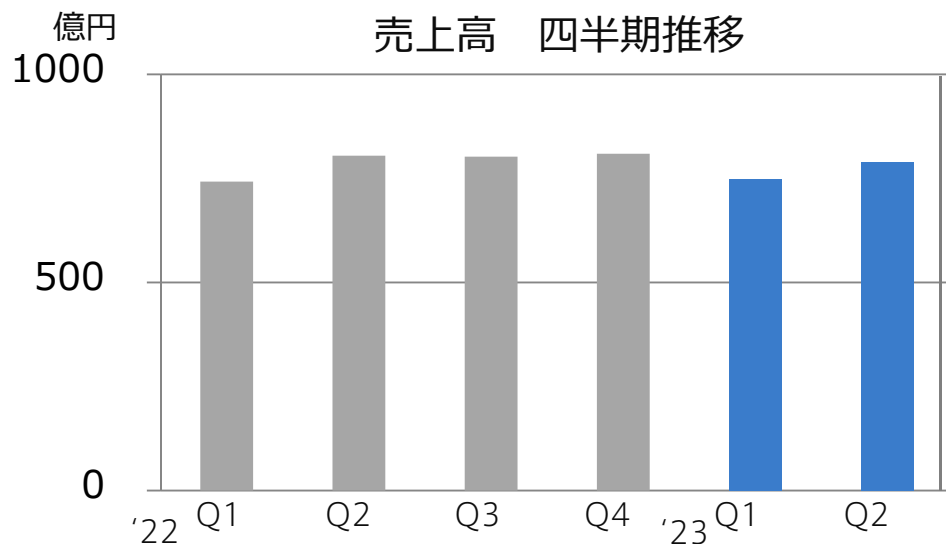
- リキッドインキ、機能性インキなどパッケージ関連やLiB用分散体は増収

営業利益

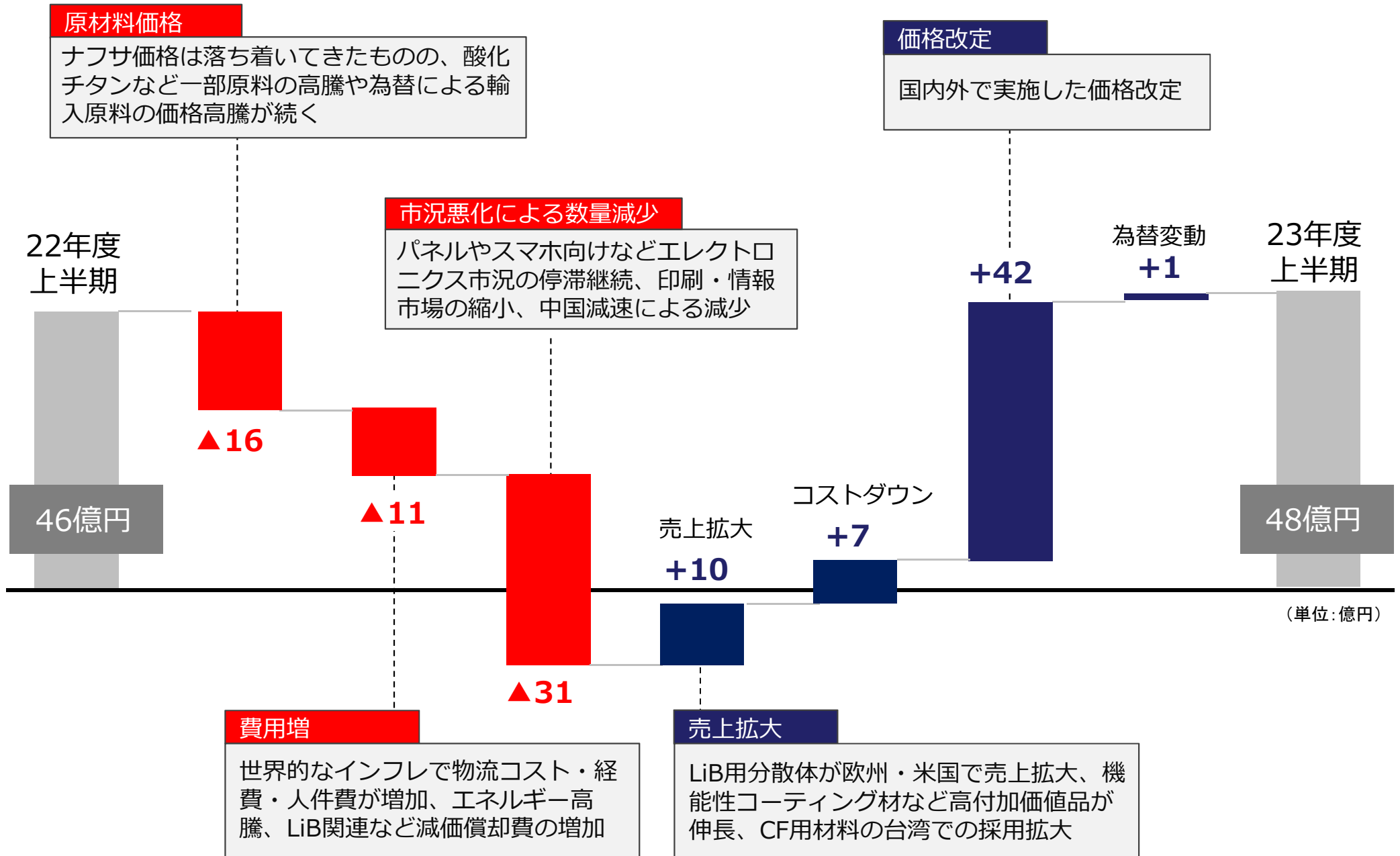
リキッドインキ、接着剤などパッケージ関連が価格改定寄与し増益
液晶パネル・エレクトロニクス市況の回復は鈍い

当期純利益

為替差益、投資有価証券売却益の減少により減益



2023年度上半期 営業利益の増減要因分析

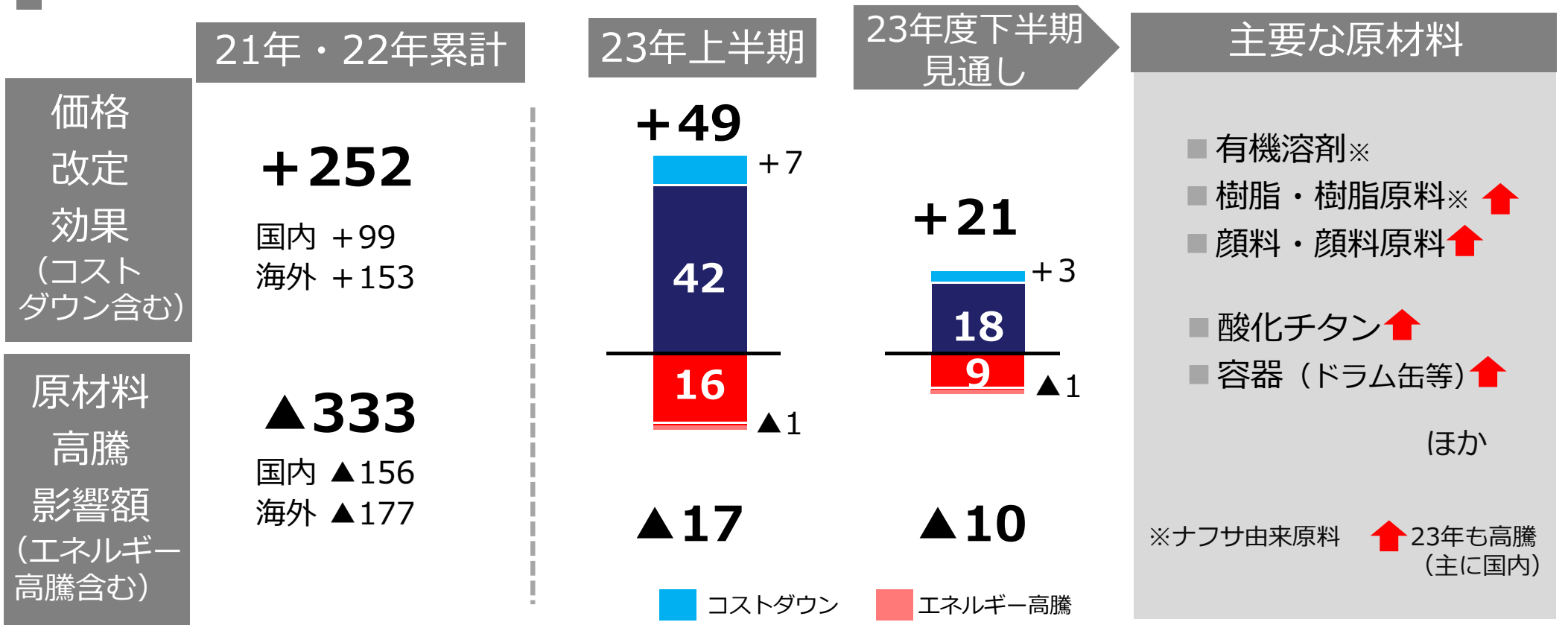


2023年度上半期 原材料価格の動向と価格改定

原材料価格の現状・見通し

- ナフサ価格は落ち着いてきたものの、酸化チタンなど一部原料の高騰や原材料調達の不安定化が継続
- 為替（円安）による輸入原料の価格上昇
- 世界的な環境規制強化の継続による対策コスト増大

営業利益への影響（対前年）（億円）



2023年度上半期 事業セグメント別実績概況

- **色材・機能材**：CF用材料は大型パネルは回復基調も中小型は鈍い、インクジェットは世界的に市場回復へ、着色剤は海外OA機器が低調、LiB用分散体は売上拡大
- **ポリマー・塗加工**：パネルやスマートフォン向けは昨年来の在庫調整が続き苦戦、工業材や包装用は物価上昇に伴う買い控えの影響を受け伸び悩む
- **パッケージ**：食品包装用は国内・海外で堅調、トルコのインフレ対応、江門新工場のコスト増加、中国市況回復鈍いものの価格改定の効果で収益回復、環境調和型製品は各地で進捗
- **印刷・情報**：国内市場の想定以上の縮小と価格改定遅れで収益悪化、海外は中国及び欧米低調、機能性コーティング材が伸長

(単位：億円)	22年度上半期 実績		23年度上半期 実績		増減率(%)		2023年度計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	394	15	394	15	▲0.0	▲2.4	870	36
ポリマー・塗加工	381	15	363	19	▲4.7	28.1	780	45
パッケージ	400	5	404	14	0.9	201.2	880	25
印刷・情報	363	6	363	▲0	0.0	▲107.1	750	12
その他・調整	9	6	13	▲0	-	-	20	▲8
連結	1,548	46	1,537	48	▲0.7	3.0	3,300	110

2023年度下期の見通しと主要施策

見通し

- 下半期からは海外市場を中心に数量が回復、収益力の改善に伴って利益を伸ばす。高付加価値の液晶パネル、エレクトロニクス関連材料も下期から回復見込み。
- 通期業績：2023年2月発表時の業績見通しから修正なし

主要施策

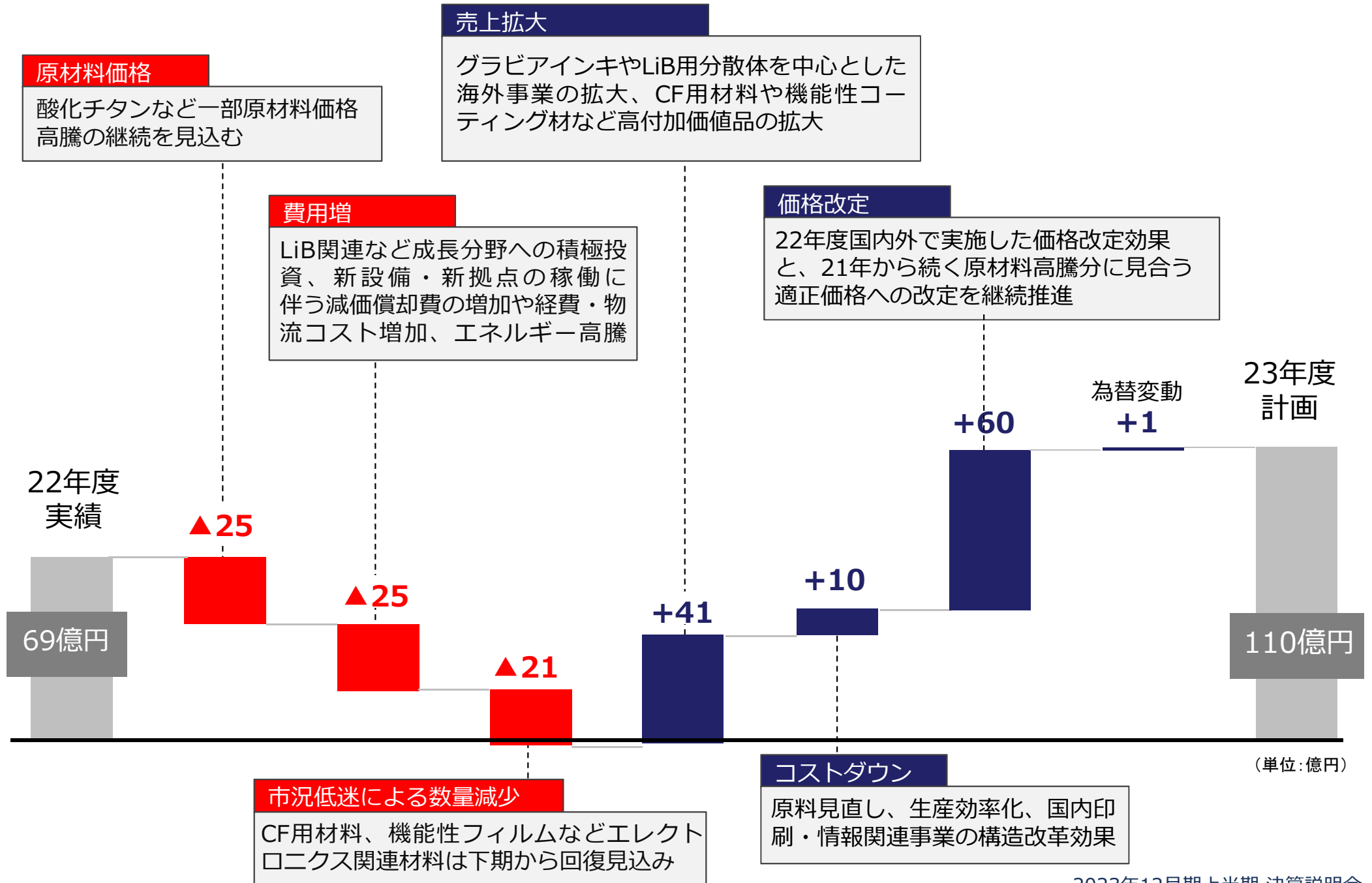
方針① 事業の収益力強化

- ✓ **コストダウン**：生産効率化、原料見直し、国内印刷・情報関連事業の構造改革を継続推進
- ✓ **価格改定**：引き続き改定を推進

方針② 重点開発領域の 創出と拡大

- ✓ **売上拡大**：海外市場を中心とした拡販活動
 - 環境調和型製品と設備増強による海外事業への注力
 - CF用材料は特に中国市場での事業推進
 - LiB用分散体は更なる採用獲得を目指す

2023年度通期 営業利益の増減要因見通し



原材料価格
酸化チタンなど一部原材料価格高騰の継続を見込む

売上拡大
グラビアインキやLiB用分散体を中心とした海外事業の拡大、CF用材料や機能性コーティング材など高付加価値品の拡大

費用増
LiB関連など成長分野への積極投資、新設備・新拠点の稼働に伴う減価償却費の増加や経費・物流コスト増加、エネルギー高騰

価格改定
22年度国内外で実施した価格改定効果と、21年から続く原材料高騰分に見合う適正価格への改定を継続推進

市況低迷による数量減少
CF用材料、機能性フィルムなどエレクトロニクス関連材料は下期から回復見込み

コストダウン
原料見直し、生産効率化、国内印刷・情報関連事業の構造改革効果

2023年度下半期 事業セグメント別施策

- **色材・機能材**：LiB用分散体は欧米中日市場へ供給拡充、CF用材料は中国市場での生産検討、着色剤の環境調和型製品の展開、インクジェットはパッケージ用途に注力
- **ポリマー・塗加工**：粘着剤・接着剤は海外拡大と、エネルギーコストなどの上昇に伴う価格改定、成長領域（環境、半導体、メディカル）への製品展開による収益構造変革
- **パッケージ**：環境調和型製品を軸とした製品展開、価格改定を推進、海外市場でのシェア向上と収益改善
- **印刷・情報**：国内構造改革の継続によるコストダウンと価格改定の推進、機能性インキ※を中心とした海外事業の拡大

(単位：億円)	23年度上半期 実績		2023年度計画		進捗率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	394	15	870	36	45.2%	40.7%
ポリマー・塗加工	363	19	780	45	46.6%	42.6%
パッケージ	404	14	880	25	45.9%	56.7%
印刷・情報	363	▲0	750	12	48.5%	▲3.4%
その他・調整	13	▲0	20	▲8	62.8%	-
連結	1,537	48	3,300	110	46.6%	43.2%

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

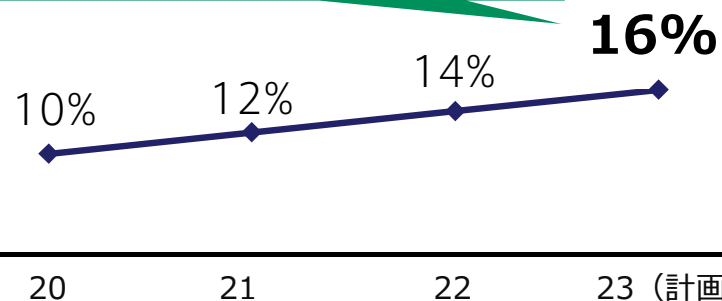
2023年12月期上半期 決算説明会

- 中国市場は23年度上半期は回復基調、下半期に本回復を見込む
- 台湾中心としたハイエンド市場は回復鈍く、23年度は在庫調整続く見通し

レジストインキの世界市場シェア (計画)

コモディティ市場 (大型パネル)

2023年世界市場
シェア16%へ

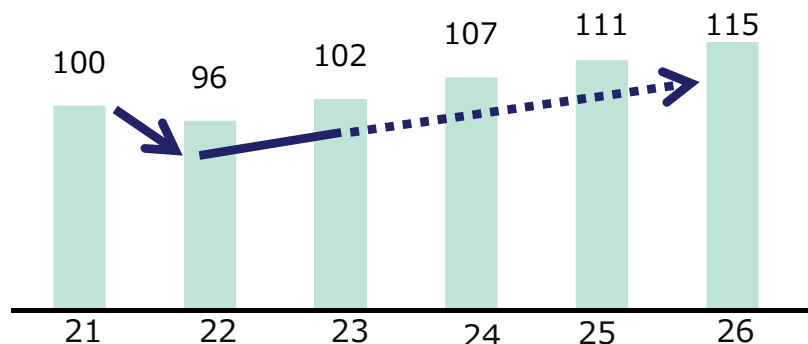


世界最大の中国市場で売上拡大

- ✓ 中国現地パートナーとの連携により、中国顧客でレッドに加えてブルーの採用が拡大
- ✓ 中国で高まるレジストインキのローカル化ニーズへの対応のため、次のステップとして中国現地生産の検討を本格化
- ✓ 台湾で安定供給体制が評価されグリーンが採用拡大
- ✓ 革新製法によるコスト競争力強化と環境負荷低減

LCDパネル (TV用・面積) 需要見通し

(21年を100とした場合) (当社推計)



ハイエンド市場 (中小型など)

徹底した差別化・機能製品を展開

- ✓ 中小型パネル：薄膜高精細、台湾でレッドで採用拡大
- ✓ センサー、次世代ディスプレイ：微細化、OLED対応
- ✓ 環境負荷低減：分散レス顔料、低温硬化技術の進化

LiB用分散体（LIOACCUM®） – 売上目標・投資額を上方修正 –

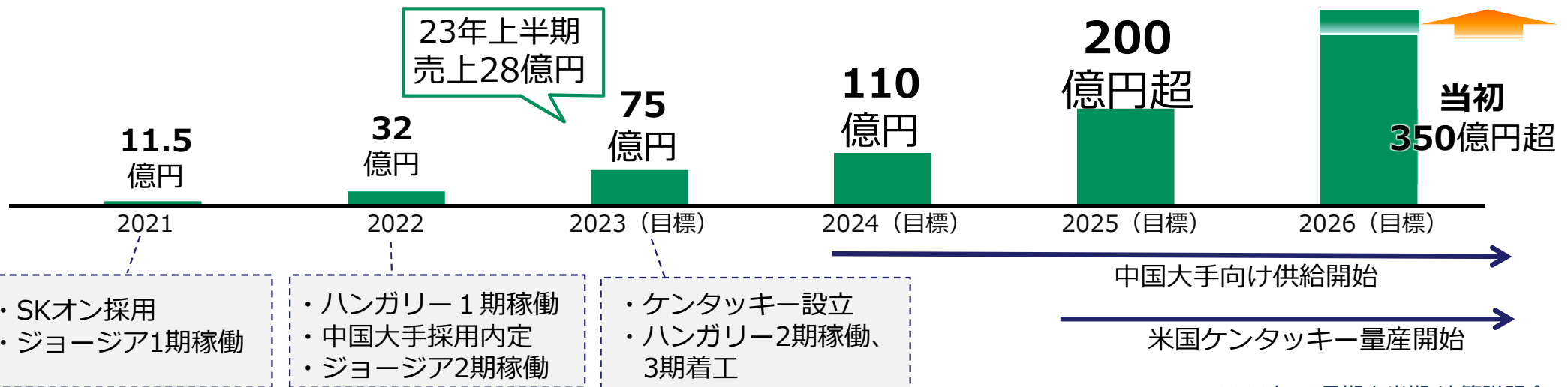
- 26年度売上目標を400億円超、設備投資を250億円超へ各50億円ずつ修正
- 新規に3社採用（北米）が内定、欧米日での生産が順調に進む

ユーザー・市場	当社工場	当社進捗
SKオン	米国ジョージア、ハンガリー	Q1に一時的な需要減も、その後は回復し順調に推移
北米需要拡大	米国ケンタッキー	新規3社採用内定。25年稼働に向け新会社・新工場を設立
中国大手	中国珠海	24年市場投入に向け、設備を増強し生産能力を強化
その他各社	4極5拠点生産体制で対応検討	負極材用含め、米国4社、欧州2社、日本2社、中国1社の内定獲得に向け、引き続き積極的に活動

売上実績・目標

2026年までの投資計画 250億円超（当初200億円超）

400
億円超



■ バイオテクノロジー企業 VLPセラピューティクス*への出資について

<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23080202.html>

出資の狙い

- ✓ 世界最先端の創薬関連ノウハウの獲得
- ✓ 当社製品の創薬市場への販売チャネル獲得
- ✓ 共同開発による当社バイオ関連製品のレベルアップ
- ✓ 将来を見据えた、バイオ関連製造プロセス技術の獲得

*VLPセラピューティクス社：

マラリア、デング熱、がんなどのワクチンを研究開発する米国バイオテクノロジー企業・VLP Therapeutics, Inc. 及び同社のグループ会社であるVLP Therapeutics Japan株式会社



(米国)

- 出資
- 研究員 2 名派遣



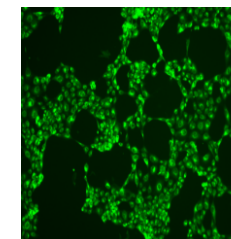
(日本)

- 出資
- 研究員1名派遣
- 社外取締役派遣

当社のバイオ市場向け製品事例



- 細胞凝集コントロール用ポリマー材料
- 近赤外蛍光プローブ色素



近赤外蛍光プローブ色素

設備投資 成長を推進する設備投資を実行

設備投資※

SIC-Ⅱ3年間累計 464億円 (計画)

- 2021年度 188億円 (実績)
- 2022年度 108億円 (実績)
- 2023年度上半期 59億円 (実績)
- 2023年度 168億円 (計画)



▶2023年度 LiB用分散体向け
設備投資 88億円

主要な設備投資

色材・機能材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国 (ジョージア・ケンタッキー) (稼働、追加投資予定) ■ ハンガリー (稼働、追加投資予定) ■ 中国 (増強予定) <p style="text-align: right;">(LiB用分散体)</p>
ポリマー・塗加工	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国・中国・インド・韓国・トルコ・マレーシア (粘着剤・接着剤) (設備新設・増強・21~24年稼働予定) ■ 守山 (24年稼働予定) (メディカル)
パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 江門 (新工場 稼働) ■ トルコ (新工場 建設中・24年稼働予定) ■ インド (第2工場 稼働) <p style="text-align: right;">(リキッドインキ)</p>

※このページの設備投資額は発注ベースで記載しています。そのため有価証券報告書記載の財務会計上の金額とは異なっています。
2023年12月期上半期 決算説明会

ESG経営の推進

E

- サステナビリティ経営を推進：
TSV2050/2030の推進、**ESG推進室**を新設し体制強化
- TCFDに基づく情報開示：2023年6月統合レポートで開示情報を更新

S

- 次世代経営者の育成：候補者を対象とした社長塾、対話を重視
- **人権マネジメント**の強化：
人権方針の策定（23年3月）
調達基本方針の改定とガイドラインの策定（22年11月）
- 人的資本の強化：
D&I推進室を発足、リスキリング・リカレント教育の導入

G

- ガバナンス体制強化：取締役の女性比率向上（22年2名⇒23年3名）
- 政策保有株式削減の継続

事業基盤の強化

- 間接部門の人員を成長領域へシフト

自社の変革に向けて

- 2024年1月からartience（アーティエンス）株式会社へ社名変更
- 次回決算説明会（2024年2月予定）にて新中期経営計画を発表

“感性に響く価値を創りだし、心豊かな未来に挑む”

artience

art

人の心・感性に届く価値

science

機能・モノによる価値

目指す姿

心豊かな未来
持続可能な社会
企業価値最大化

✓ 基本的な考え方

事業ポートフォリオの変革

資本効率とキャッシュフローの最大化

企業基盤構築とサステナビリティ経営実践

次期中期経営計画

- ✓ 収益拡大
- ✓ ROE7%目標
将来的に10%目指す
⇒PBR改善

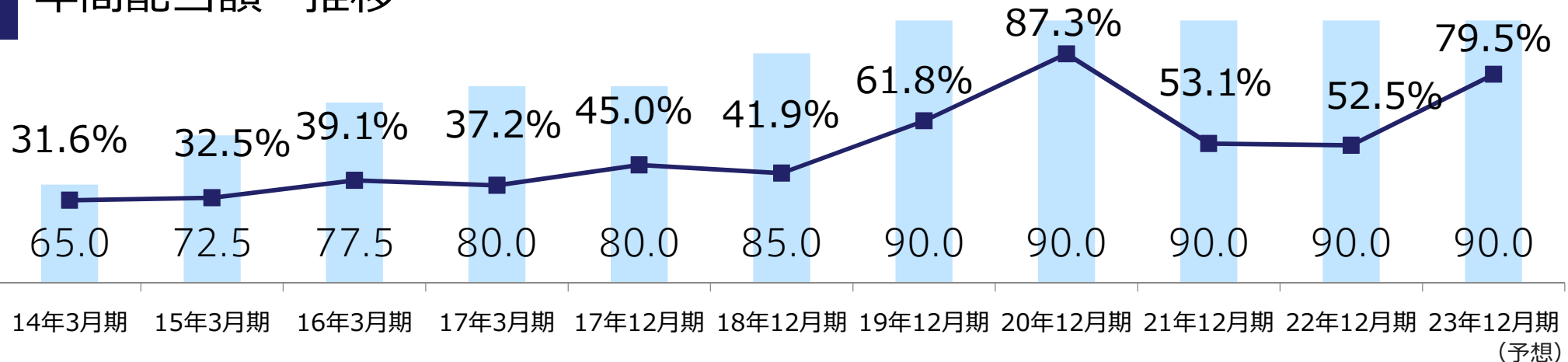
“GROWTH”

株主還元 安定した配当政策

株主還元に関する基本方針 (要約)

- 長期的な視点ですべてのステークホルダーの満足度を向上し続けることで、持続的な成長を実現していくことを目指す
- 長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めつつ、安定的な配当を継続
- 当中期経営計画期間（2021年～2023年）においては現状の配当金額（年90円）を下限とするが、業績によっては見直しを検討
- 安定配当を基本としながら、キャッシュ・フローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、自己株式の取得を機動的に行うなど株主還元を努める
- 内部留保については、基盤事業や成長が見込まれる事業分野への設備投資と、将来の利益向上に寄与できる研究開発に充てる

年間配当額※ 推移



※グラフにおける年間配当額は2018年7月1日 株式併合実施換算後の数値

年間配当金 (円) ■■■■■ 配当性向 (連結) ■—

2023年12月期上半期決算説明会

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先

ir@toyoincgroup.com

■ ウェブサイト

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/index.html>

■ 主要ニュースリリース

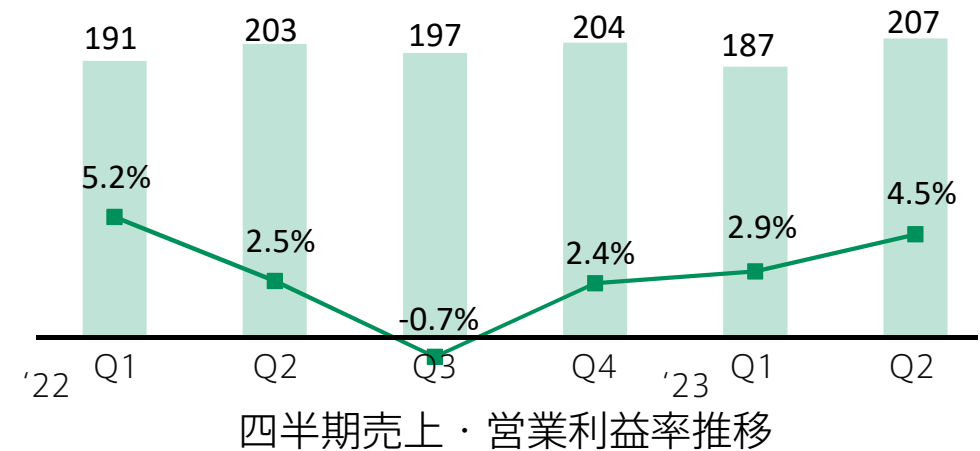
- タイ製缶塗料メーカーとの株式譲渡契約締結（子会社化）に関するお知らせ（2023年3月14日）
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23031401.html>
- トーヨーケム、新規樹脂の試作・生産を行う新棟を川越製造所に開設（2023年4月24日）
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23042401.html>
- 統合報告書「東洋インキグループ 統合レポート2023」を公開（2023年6月28日）
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23062801.html>
- バイオテクノロジー企業 VLPセラピューティクスへの出資について（2023年8月2日）
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23080202.html>



- **売上** 機能性分散体は伸長も、着色剤が市況低迷、CF用材料が回復途上で前年並み
- **営業利益** CF用材料は中小型は回復鈍いものの大型は回復基調、インクジェットの世界的な市場回復と着色剤の価格改定進捗で増益

実績	22年度	23年度	増減率 (%)
	上半期実績	上半期実績	
売上	394	394	▲0.0
営業利益	15	15	▲2.4

(億円)

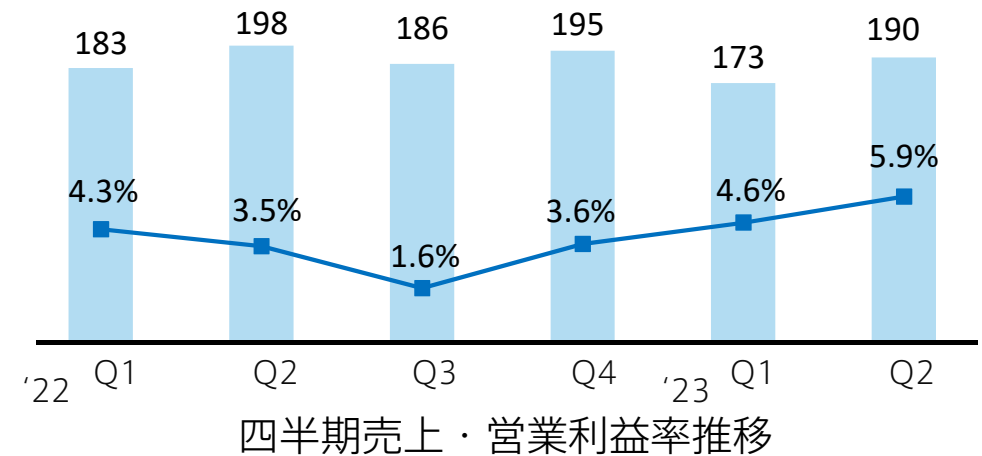


売上増減	概況
CF用材料 (メディア材料) ▲4%	中国・台湾でレジスト・ペーストは拡販進展、FY22Q2から続くパネル在庫調整は中小型は回復鈍いものの大型は回復基調
着色剤 ▲2%	国内は容器・建材用が市況低迷、海外OA機器は低調も米国の自動車用・中国の太陽電池用が好調、原材料は一部高騰続くも価格改定が進捗
顔料 ▲21%	パッケージ用は堅調も、オフセット用顔料の需要は減少続き低調
インクジェット ▲2%	市場で在庫調整も後半から回復基調、水性は堅調
機能性分散体 181%	LiB用分散体はQ1に一時的な需要減も、欧米からの出荷拡大

- **売上** パネルやスマートフォン向けは昨年来の在庫調整が続き不調、パッケージ・工業材用は国内外で物価上昇に伴う買い控えの影響、特に中国市況が低調で減収
- **営業利益** エレクトロニクス市況低迷で高付加価値製品は不調も、国内外の価格改定で回復

実績	22年度 上半期実績	23年度 上半期実績	増減率 (%)
売上	381	363	▲4.7
営業利益	15	19	28.1

(億円)

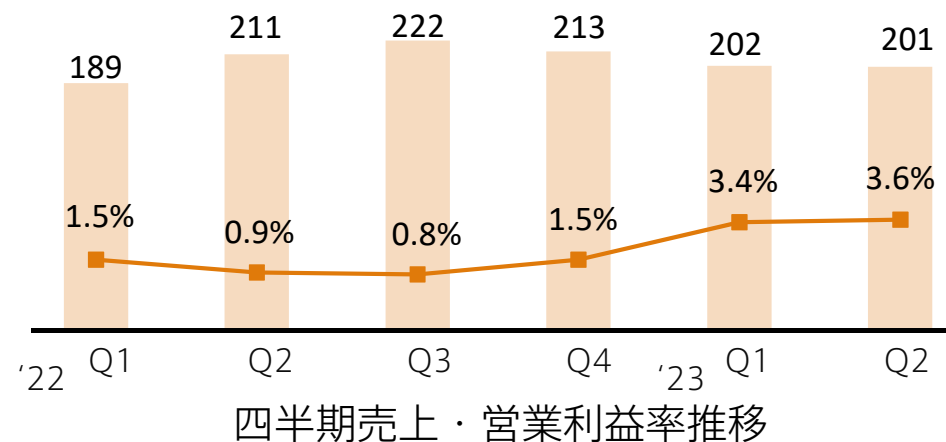


	売上増減	概況
パッケージ・工業材料	+1%	高機能製品の拡販は進むが、全体的には国内外で物価上昇に伴う買い控えを受け伸び悩む、価格改定効果で利益は一定の回復
エレクトロニクス	▲23%	昨年から続く世界的なスマホ、パネルの需要減少で機能性フィルム、光学用粘着剤が低迷、中国での拡販は進展
メディカル・ヘルスケア	▲7%	貼付薬は堅調だが、ヘルスケア用粘着剤は中国景気低迷で伸び悩む

- **売上** 食品包装用は中国は低迷も国内外で需要堅調、環境調和型製品は各地で拡大
- **営業利益** トルコはインフレ対応、中国は江門新工場のコスト増加と市況低迷で低調も、国内外で価格改定が進捗し海外中心に増益

実績	22年度 上半期実績	23年度 上半期実績	増減率 (%)
売上	400	404	0.9
営業利益	5	14	201.2

(億円)

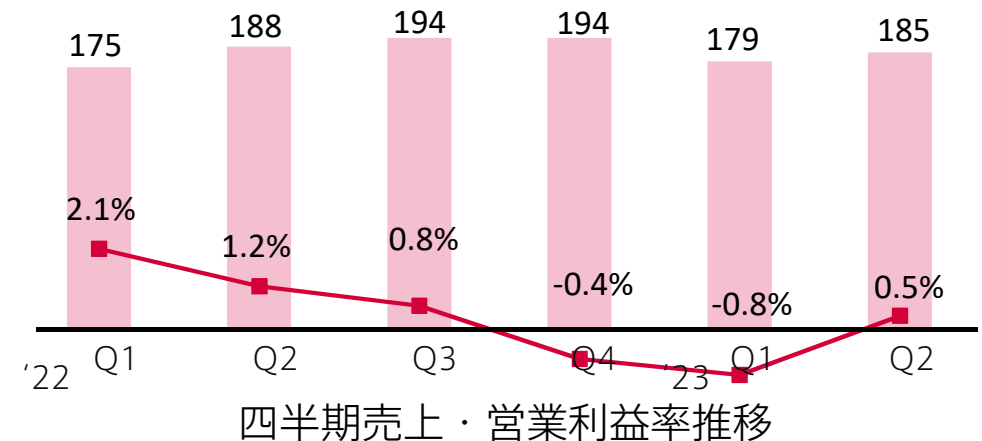


売上増減	概況
国内リキッドインキ +4%	食品軟包装用や詰め替えパウチ用は需要堅調もインフレによる買い控え傾向、バイオマスインキや紙化対応品など環境調和型製品が拡大、価格改定が進捗
海外リキッドインキ ▲2%	インド・韓国で水性インキなど環境調和型製品が伸長、東南アジア・インドは需要堅調でミドルグレード品が拡大、トルコはインフレ対応・中国は江門新工場のコスト増加と市況低迷も、価格改定が進捗

- **売上** 国内市場は縮小加速、海外は中国市況低迷も機能性インキが需要堅調で前年並み
- **営業利益** 国内は想定以上の商業印刷市場縮小と価格改定遅れで収益悪化、海外は中国および欧米市場低調、機能性コーティング材は伸長

実績	22年度 上半期実績	23年度 上半期実績	増減率 (%)
売上	363	363	0.0
営業利益	6	▲0	▲107.1

(億円)



売上増減	概況
オフセット インキ (一般インキ) ▲4%	海外は中国の景気低迷や欧米低調で不調、国内は販社・分社の統合や人員シフトなど構造改革及び価格改定したものの、商業印刷市場縮小が加速し前年を下回った
機能性インキ※ +6%	国内はパッケージ向けUVインキが堅調に推移したものの海外は中国及び欧米が低調に推移、海外向け機能性コーティング材は伸長、金属インキは海外市場開拓を推進も国内は低調

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

(参考) 連結貸借対照表等の概況

(単位：億円)

	2022年 12月末	2023年 6月末	増減率 (%)
流動資産	2,292	2,219	▲3.2
固定資産	1,819	2,041	12.2
資産計	4,112	4,261	3.6
流動負債	1,135	1,208	6.5
固定負債	698	599	▲14.3
負債合計	1,833	1,807	▲1.4
純資産計	2,279	2,454	7.7
負債純資産計	4,112	4,261	3.6

	2022年 12月末	2023年 6月末
有利子負債(億円)	864	874
自己資本比率(%)	53.3	55.5
D/Eレシオ	0.42	0.42

関係会社の数

	2022年 12月末	2023年 6月末
連結子会社	61	57
持分法適用会社	7	6

配当の状況

(単位：円/株)

	2022年度	2023年度
中間	45.0	45.0
期末	45.0	45.0(予想)

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

	2023年度 通期計画	2023年度 上半期実績
設備投資※	168	92
減価償却	110	54

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベースの金額

(参考) 連結損益計算書の概況

単位：億円

	2022年 上半期	構成比 (%)	2023年 上半期	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	1,548	100.0	1,537	100.0	▲0.7
売上総利益	279	18.0	289	18.8	3.7
販管費計	233	15.0	242	15.7	3.9
営業利益	46	3.0	48	3.1	3.0
営業外収益計	36	2.4	20	1.3	▲43.9
営業外費用計	15	1.0	14	0.9	▲6.7
経常利益	67	4.3	54	3.5	▲20.2
特別利益計	54	3.5	10	0.6	▲81.6
特別損失計	2	0.1	10	0.6	398.8
税金等調整前当期利益	120	7.7	54	3.5	▲55.1
法人税等計	35	2.3	16	1.0	▲55.9
当期純利益	84	5.5	38	2.5	▲54.8
親会社株主に帰属する当期純利益	84	5.4	38	2.5	▲54.3

(参考) 事業別セグメント実績

		2023年12月期 第2四半期 (3ヶ月)実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2023年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	97	3	▲4.9	▲58.2	13.7	215.6	183	4	▲10.7	▲75.1
	海外	157	9	5.7	353.1	7.8	279.1	302	11	6.3	246.4
	合計	207	9	1.9	82.9	10.4	70.3	394	15	▲0.0	▲2.4
ポリマー・ 塗加工	日本	124	4	▲7.5	2.2	6.9	6.1	239	8	▲7.3	▲6.7
	海外	91	7	▲5.6	65.2	14.2	42.3	171	12	▲6.8	54.5
	合計	190	11	▲4.0	58.5	9.8	38.5	363	19	▲4.7	28.1
パッケージ	日本	110	3	0.5	40.7	▲0.6	▲42.5	220	9	3.5	63.8
	海外	95	4	▲9.7	-	0.5	172.5	189	6	▲2.1	-
	合計	201	7	▲4.6	294.1	▲0.3	3.4	404	14	0.9	201.2
印刷・ 情報	日本	92	▲2	0.1	-	0.3	-	183	▲5	1.9	-
	海外	104	3	▲3.9	▲33.6	6.0	92.0	201	5	▲1.1	▲44.5
	合計	185	1	▲2.0	▲56.2	3.3	-	363	▲0	0.0	-
その他		14	0	7.3	▲99.7	▲7.1	▲95.4	28	0	13.6	▲97.7
調整		▲8	▲0	-	-	-	-	▲16	▲0	-	-
連結		788	28	▲2.1	58.1	5.4	48.9	1,537	48	▲0.7	3.0

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。







2023年12月期上半期決算説明会

(参考) 地域別セグメント実績

当期実績	2023年12月期 第2四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2023年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	436	7	▲3.0	▲37.9	4.6	▲6.4	853	15	▲3.2	▲49.6
アジア	317	15	▲3.6	69.7	9.4	65.9	606	24	▲3.6	44.1
ヨーロッパ	64	6	▲9.9	108.0	▲7.2	-	134	6	5.6	39.7
北米・中南米	64	2	12.2	-	11.3	45.4	122	3	13.3	-
調整	▲93	▲2	-	-	-	-	▲178	▲2	-	-
連結	788	28	▲2.1	58.1	5.4	48.9	1,537	48	▲0.7	3.0

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	431	18	449	12	427	▲5	463	4	1,770	29
アジア	300	8	328	9	324	9	316	11	1,269	37
ヨーロッパ	55	2	71	3	70	▲1	73	1	269	5
北米・中南米	50	▲0	57	▲1	63	0	56	▲0	227	▲1
調整	▲94	1	▲102	▲5	▲81	4	▲99	▲1	▲376	▲1
連結	742	28	805	18	802	7	809	16	3,159	69

(参考) 主な製品・用途 (色材・機能材/ポリマー・塗加工)

	主な事業	主な製品	主な用途	
色材・機能材	CF用材料 (メディア材料)	表示材 (レジストインキ)、ペースト、高機能顔料	ディスプレイ、センサー	
	プラスチック着色剤	マスターバッチ、コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
	顔料	顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
	インクジェット	インクジェットインキ	看板広告、ラベル、段ボール	
	機能性分散体	リチウムイオン電池用材料、機能性分散体	xEV用リチウムイオン電池	
ポリマー・塗加工	パッケージ・工業材料	粘着剤、ラミネート接着剤、ホットメルト、製缶塗料、樹脂	ラベル、フィルム包材、太陽電池、PETボトルラベル、飲料缶、建材	
	エレクトロニクス	機能性フィルム、粘着剤、両面テープ、ハードコート	スマートフォン、ディスプレイ、タブレット	
	メディカル・ヘルスケア	メディカル製品、粘着剤、天然材料	貼付型医薬品、スポーツテープ、食品、飼料	

(参考) 主な製品・用途 (パッケージ/印刷・情報)

	主な事業	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材
		フレキソインキ	サニタリー、段ボール、紙袋
印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ
	機能性インキ	UVインキ	紙器、ラベル、書籍
		金属インキ	飲料缶、食缶
		スクリーンインキ	エレクトロニクス、ステッカー

